



2020/11/15 SUN

シンポジウム

障がい者アートのための研究・ワークショップ

みんなでいっしょに舞台演劇を楽しむためには ～『舞台手話通訳』など日本の現状から～

知事や首相の記者会見で、手話通訳が隣に立っているのを見かけるようになりました。さて、演劇公演における舞台手話通訳はどうでしょうか？おそらく日本では、見たことがないという人が多いと思います。ですが、英国やアメリカでは、20年ほどまえから「舞台手話通訳」が当たり前のようにあり、たくさんのろう者が舞台演劇を楽しんでいます。日本の現状はどうなのでしょう？今、できることを一緒に考えませんか。

メインスピーカー：廣川麻子（ひろかわあさこ）

TA-net理事長。東京出身。

和光大学在学中の1994年(社福)トット基金日本ろう者劇団入団。2009年英国 Graeae Theatre Companyにて研修。2012年シアター・アクセシビリティ・ネットワーク設立。平成27年度(第66回)芸術選奨文部科学大臣新人賞、2016年第14回読売福祉文化賞(一般部門)を受賞。文化庁文化審議会第15期文化政策部会舞台芸術ワーキンググループ専門委員。文化庁障害者文化芸術活動推進有識者会議構成員、日本財団「True Colors Festival-超ダイバーシティ芸術祭-」アドバイザー・パネルほか。2018年より東京大学先端科学技術研究センター当事者研究分野ユーザーリサーチャーとして観劇支援を研究。



聞き手：吉野さつき（よしのさつき）

愛知大学文学部メディア芸術専攻教授・ワークショップコーディネーター

シティ大学大学院(英国)芸術政策経営学部修士課程修了後、公共ホールの文化事業担当を経て、平成13年度文化庁派遣芸術家在外研修員として、英国で演劇のアウトリーチやエデュケーションプログラムの研修と調査を実施。教育、福祉、ビジネスなどの現場でさまざまなジャンルのアーティストによるワークショップをコーディネートする他、各地の公共ホールや大学などで、アウトリーチ事業やワークショップの企画運営を担う人材育成プログラムにも数多く携わる。文化経済学会(日本)会員。

日時 | 2020年11月15日(日) 13:30-16:00

会場 | 穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 創造活動室 B

料金 | 無料 定員 | 20名(先着順)

申込 | オンライン : <http://toyohashi-at.jp>

劇場窓口

FAX : 0532-55-8192

締切 | 定員に達し次第終了 ※定員に満たない場合当日参加可

手話通訳
付き

シンポジウム
みんなでいっしょに舞台演劇を楽しむためには
～『舞台手話通訳』など日本の現状から～
応募用紙

・ご本人が記入できない場合は、代理の方（保護者の方など）にてご記入をお願いします。

お問合せ：穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 〒440-0887 愛知県豊橋市西小田原町 123 番地

TEL 0532-39-8810 FAX 0532-55-8192 ホームページ <https://www.toyohashi-at.jp>

応募
問合せ

ふりがな	性別	男性・女性
名前	年齢	歳
職業 / 学校名・学年		
住所 〒		
電話番号（自宅 / 携帯電話）		
(自宅)	(携帯)	
MAIL（PC / 携帯）		
(PC)	(携帯)	
疑問、不安や要望などありましたらご記入ください。		
障がいをお持ちの方は、どのような障がいがあるかをご記入ください。		
介助者を伴う場合は、介助者の氏名・電話番号をご記入ください。		